

ALSO プロバイダーコース in 東京医療保健大学



近年日本の産科医療の現場では、高齢出産や不妊治療の増加に伴い、ハイリスク妊産婦が増加している。また、産科に従事する医師のマンパワー等の問題もあり、産科救急医療は産婦人科医だけではすでに成り立たない状況になりつつあることは周知の事実である。日本全国のすべての地域でできるかぎり同じレベルの産科救急医療を維持するには、産科救急医療に関わりたいという志を持った人々をトレーニングする場を多く提供し、最低限必要な医療チーム体制をあらゆる医療圏に確保する必要がある。まさにその足がかりとなるトレーニングコースが **Advanced Life Support in Obstetrics (ALSO)** である。ALSO は、医療プロバイダーを対象とした周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を発展・維持するための 2 日間の教育コースである。産科合併症、難産、蘇生事例、出血等への緊急対応等の講義や実技を行い、研修修了後に筆記試験と実技試験により ALSO-Japan より認定書が交付される。ALSO による普及活動は世界的に行われており、現在までに 50 カ国以上でプロバイダーコースが開催され、10 万人以上が ALSO コースを完了している。

東京医療保健大学大学院看護学研究科高度実践助産コースでは、助産師に必要な能力の一つとして「周産期における緊急時に対応できる知識・技術の実践能力と、医師と協働し適切に対応できる連携能力」を教育理念に掲げている。このような特徴から、周産期医療の益々の充実を図るために、本大学院に於いては ALSO プロバイダーコースを開催し、高度助産実践者育成教育を行っている。ALSO コースは本大学院の実習施設である独立行政法人国立病院機構をはじめとした産科医療施設との協力体制作りの一環としても位置付けており、今回で 5 回目の開催となる。

【開催概要】

期 日 : 2019 年 9 月 28 日 (土)、29 日 (日)
会 場 : 東京都目黒区東が丘 2-5-1
東京医療保健大学東が丘・立川看護学部
国立病院機構キャンパス
対 象 : 助産師・医師
受講料 : 40,000 円 (認定料、講義資料等、含)
(大学主催のコースの為学生の受講料は別に定める)
主 催 : 東京医療保健大学
共 催 : NPO 法人周産期医療支援機構

